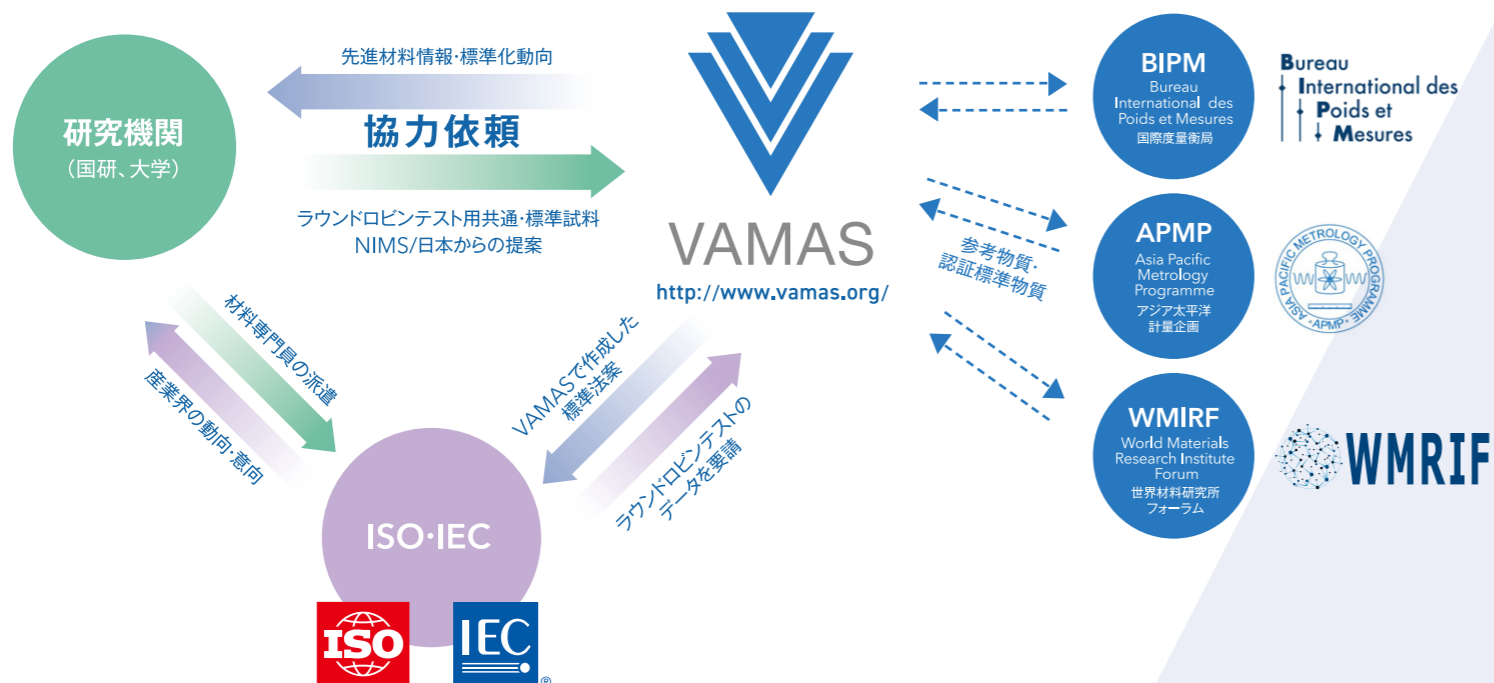


VAMASは、 研究成果を国際標準へつなぐ 架け橋となります。

VAMAS (Versailles Project on Advanced Materials and Standards) とは?
<http://www.vamas.org/>

1982年のG7ベルサイユ・サミットで合意され、
 先端技術製品の貿易や経済的交流を活性化することを目的として発足したVAMASは、
 先進材料の標準化に関する国際協力プロジェクトとして、ISO(国際標準化機構)とリエゾンをつき、
 ISOやIEC(国際電気標準会議)に新材料に関する標準法案を提出し、国際標準化を促進しています。
 VAMAS国内対応委員会は、VAMASとの連携により諸外国との国際交流を図り、
 国内外の研究機関との研究成果をもとに、日本主導の規格の提案や国際標準化を目指し、活動を続けています。



運営委員会(SC)

- 英国(議長)
- アメリカ合衆国
- 日本
- カナダ
- フランス
- ドイツ
- イタリア
- EU

- 2007年加入
- 韓国
- インド
- ブラジル
- メキシコ
- オーストラリア
- 南アフリカ
- 台湾

- 2013年加入
- 中国

技術作業部会

(TWA: Technical Working Area)

VAMAS国内対応委員会

NIMSが国内中核機関として取りまとめ

- 物質・材料研究機構
- 産業技術総合研究所
- 大学・国研等
- 産業界
- 文部科学省
- 経済産業省

- TWA 2 表面化学分析
- TWA 5 高分子複合材料
- TWA 16 超伝導材料(議長)
- TWA 24 セラミックスの電気的特性(議長)
- TWA 31 溶接部材のクリープき裂進展
- TWA 33 高分子ナノコンポジット
- TWA 34 ナノ粒子の特性評価
- TWA 36 プリントド・フレキシブルエレクトロニクス材料
- TWA 37 定量微細組織解析
- TWA 39 固体収着材
- TWA 40 合成生体材料
- TWA 41 グラフェンおよび二次元材料
- TWA 42 ラマン顕微分光
- TWA 43 熱的特性
- TWA 44 自己治癒セラミックス(議長)
- TWA 45 材料と環境

VAMASの活用で得られる利点の数々



国際ネットワークの構築



事前合意が可能

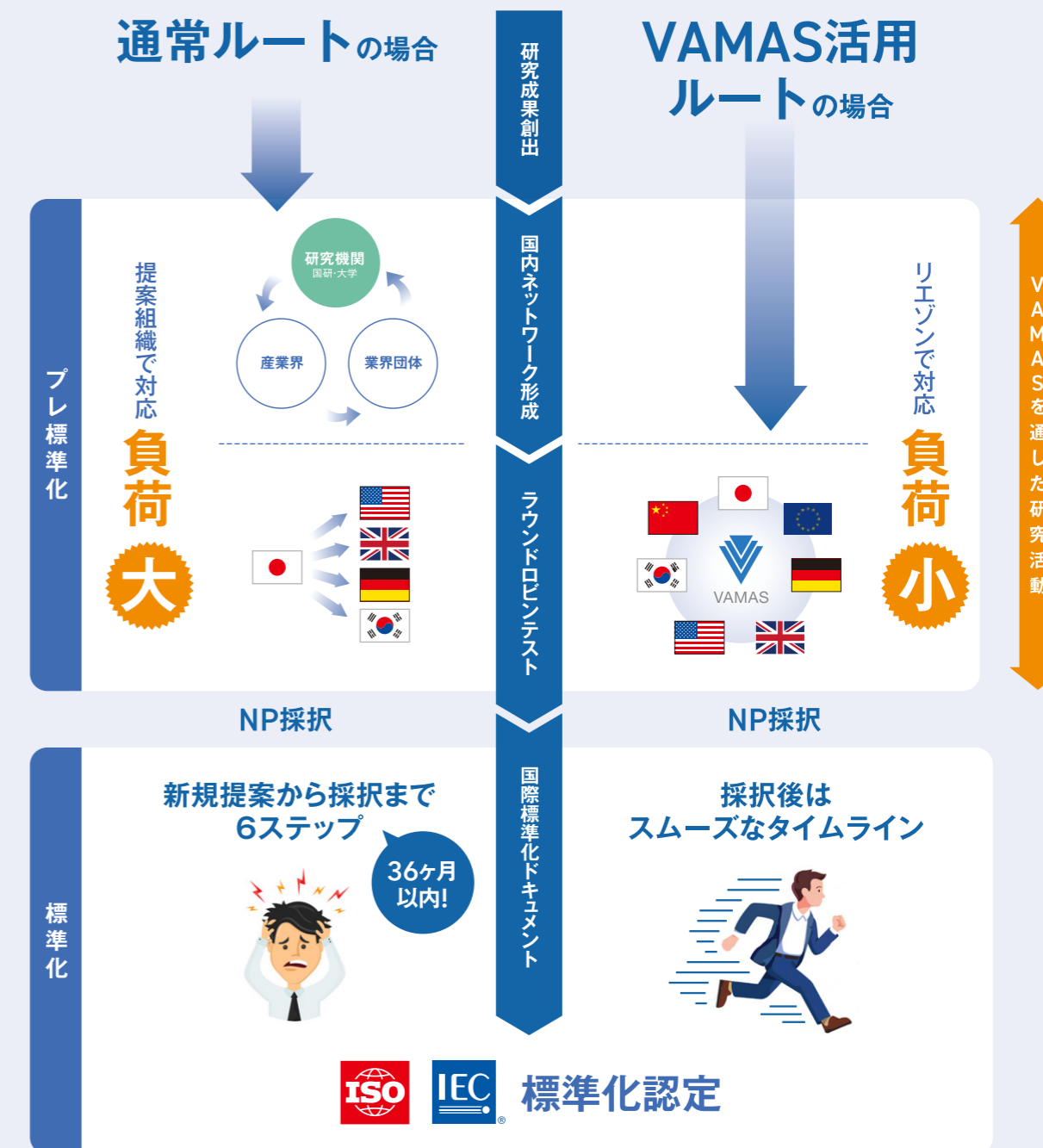


最新情報の早期入手



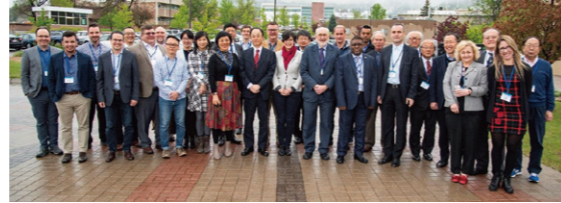
成立までの時間を短縮

通常ルートとVAMAS活用ルートの比較



最近のVAMAS運営委員会の主な活動

2019年5月 VAMAS SC-44 (米国コロラド州ボルダー)



2020年6月 APMP (アジア太平洋計量計画) と MoU を締結 (オンライン調印)

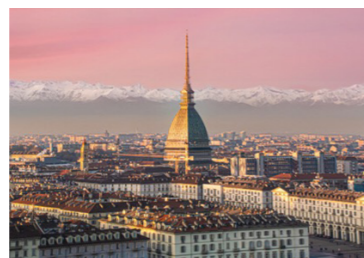
2020年9月 VAMAS SC-45 (オンライン開催)



2021年秋 VAMAS SC-46 (日本 茨城県つくば市) 開催予定



2022年初夏 VAMAS SC-47 (イタリアトリノ市) 開催予定



連絡先

〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1
国立研究開発法人物質・材料研究機構 VAMAS国内対応委員会事務局
E-mail: vamasj-secretariat@ml.nims.go.jp

<https://www.nims.go.jp/vamas/index.html>
<http://www.vamas.org/>

<https://www.nims.go.jp/vamas>

VAMAS

Versailles Project on Advanced
Materials and Standards



VAMAS